

裾野麗峰山の会山行報告書

文・河野光江 写真、GPS・村山

山行番 NO. 1548
日時 2013.05.06 (日) 晴～霧・小雨～晴
山域 天城連峰・万三郎岳 (1405m)
コース ゴルフ場発7:30—四辻8:05—万二郎岳9:10～13—万三郎岳10:20～
05—瀬沢分岐—小岳11:00～05—瀬沢分岐(昼食)11:25～12:25—
瀬沢分岐12:53—四辻13:55—天城ゴルフ場14:12—湯～トピア函南15:
40～17:00—下土狩
標高差 上り ゴルフ場駐車場約1050m～馬の背1325m=約275m
万二郎岳コル約1250m～万三郎岳=1405m=約155m
小岳約1360m～瀬沢分岐約1400m=約40m
参加者 後藤、村山忠、井上、土屋、河野、伊藤ち、小松、天野、鈴木恵、勝又、勝又薫、峰田、
村山章、浜道、田内、今期生=長谷、木原、木原幹、世古進、室伏=20名

1・下土狩駅6:00—天城ゴルフ場7:30発

ゆったりゴージャスなバスに揺られながら登山口に向かう。今日は5名の新人さんを迎えての25年度1回目のさわやかハイキング。車内で全員、自己紹介をする。天城ジャクナゲの花期に少し遅いとはいえ天城ゴルフ場の駐車場はかなり混んでいた。大きな輪を作り準備運動(ラジオ体操)のあと、新人さんに隊列の前の方に入ってもらい出発。登山道入口は少し戻り道路の向こう側に有る。案内板も設置されている。

2・四辻8:05通過—万二郎岳9:10着

時折ヤマツツジ(オレンジ色)を見ながらわりと平坦な道を行く。意味不明な看板が有る四辻という所で左折。右へも道が有るが今日は周遊コース、帰路逆からたどる道である。幹の柄や色がおもしろいヒメシヤラが目立つ林の中を行く。風が通らず蒸し暑い。歩き始めて25分、斜面が崩落し視界が開けた所で休憩。後藤CLが新人さんに服装やリュックの背負い方など指導する。この後、道は徐々に急登になり展望も無いため黙々と登る。前を行くKさん夫妻のペースが落ち、つまずいたり転倒したりしたので皆、心配になりすぐさまステッキが提供された。必死で登って行くが辛そうなのでさらにお二人のリュックも預かり空身で登ってもらう。傾斜が緩んだなと思ったら万二郎岳の頂上に飛び出した。1299m。残念だが木々に覆われて展望は無い。所々にトウゴクミツバツツジが咲いている。花のピンク色が鮮やかだ。

3・万二郎岳9:13発—万三郎岳10:20着

登山道は万三郎岳に向かって一気に下っている。後藤CLから注意するよう声がかかる。少し下った所で後藤CLの判断でKさん夫妻が下山することになった。付き添う後藤CLの代わりIさんがCLになり先頭へ。記録用の写真はMさんが引き受けてくれた。馬の背という岩稜に出ると視界が開けるが、いつの間にか発生したガスで何も見えず。



このコース唯一の展望なののがっかりする。朝はあんなに晴れていたのに薄暗くなり雨が心配になってくる。アセビのトンネルを抜けて石楠立（1250m）へ。ここから急坂をひと登りで万三郎岳に着いた。立派な一等三角点がある。あまり広くない頂上はすごい人でごった返していた。とても皆で座れるスペースが無いので、集合写真を撮ってもらい先へ進む事になった。なんといってもお昼するには早すぎる。

4・万三郎岳 10:25 発—万三郎岳下分岐点—小岳 11:00 着 11:05 発

数年前に購入した無線機により、無事Kさん夫妻を下山させた後藤CLがこちらに合流するべく四辻から逆コースで向かっている事がわかった。後藤CLと一緒にのお昼の焼き物大会にするにはどう時間をつぶしたらいいか。皆で話し合った結果、八丁池への縦走路上に有る片瀬峠の先、小岳（1360m）まで往復する事になった。かなり急な下りの後たどり着いた小岳はこれがピークなの？という感じ。展望は無いが幻想的なブナの原生林が広がっていた。ここでも集合写真を撮ってもらう。

5・万三郎岳下分岐点 11:25 着—12:25 発

後藤CLが間に合うか気にしつつ軽い焼き物大会+お昼を始める。たくさんの食材が手慣れた数人によって次から次へと焼き上げられ回ってくる。ありがたくごちそうになる。回りを見れば私たち以上の団体さんもお昼を採っている。人も多く通って行く。少し遅いとはいえシャクナゲのシーズンなんだなと実感する。再び後藤CLから無線でこちらのお昼に間に合わない事が伝えられた。一人のお昼になってしまい残念だったと思う。



6・潤沢分岐 12 : 53 通過—四辻 13 ; 55 通過—天城ゴルフ場 14 : 12 着

分岐からは丸太作りの階段を一気に下る。右手斜面を見上げればまだ十分きれいなシャクナゲやあちこちのトウゴクミツバツツジに感激。12 : 45 頃、いつの間にか後藤CLが合流していた。潤沢分岐を越えるときつい登りも下りも無くなだらかな道を行く。四辻にも人がかなりいて、「お帰りなさい！」と声をかけられた。14 : 20、無事に天城ゴルフ場に帰り着いた。



7・日帰り温泉湯ートピア函南15:40着—17:00発 +感想

今日は蒸し暑く大汗だったので、大きな湯船につかりさっぱり。脱衣場で、今日残念だったKさんに声をかけられた。日課の1万歩歩きに加え、階段の登り降りをやります！と前向きの話をしていたので良かったなと思いました。

こんなに身近い山にもかかわらず万二郎岳・万三郎岳は初めてで、“万”の読み方が“ばん”という事を初めて知り、湯ートピア函南も初めてで初めてづくしの1日でした。後藤CLはじめ皆様、ありがとうございました。また、よろしくお願ひします。



